

社団法人 浜松青年会議所 現役理事長経験者から内山理事長予定者への ハートフルメッセージ

去る8月5日(木)第2回定時総会が行われ、次年度理事長予定者として内山智一郎君が確定しました。そこで現役歴代理事長5名から内山理事長予定者に心を込めたメッセージいただいたので、紹介します



第50期理事長 松田圭介

内山理事長予定者へ
平成9年、私が拡大担当室長の時に入会され、理事長の時には事務局長、日本JC副委員長の時には委員、東海地区運営専務の時には事務局長と、絶えず私のことを支えてくれましたよね。この恩返しをするため、一緒に次年度浜松JCを盛り上げていきたいと思っています。さて、浜松JCは200名を超える個性豊かな会員がいます。このトップに立つということは、少しプレッシャーに感じるかもしれませんが、とにかく今まで内山君が培ってきた力で思いっきり突っ走ってください。そんな姿を見れば、きっとみんなついてきてくれると思います。内山君、理事長頑張ってください！



第53期理事長 間 渕 亨 夫

「リーダーシップを発揮する」これが理事長の役割です。自分の信念を持ち、それを実行することは強い意志がなければできません。内山理事長予定者は強い意志と信念の持ち主です。2005年度のメンバーのJCライフはあなだにかかっています。持ち前のパワーでメンバーを素晴らしいJCライフに導いてください。現役として勇姿を拝見できないのは残念ですが、シニアとして応援させていただきます！



第54期理事長 内 田 浩 幸

2005年度理事長予定者決定おめでとうございます。

いよいよ浜松市も2005年7月1日より周辺11市町村と合併して新しい浜松市としてスタートします。これは、行政と浜松JCそして同じ行政区内のJCとの関係を新たに築く良い機会であると捉え、内山予定者の強力なリーダーシップですばらしいものとされる事を期待いたします。私も直前としてできることがあればお手伝いしたいと思っています。新しい浜松JCのためにがんばってください。



第51期理事長 田 原 育 宏

内山智一郎くんへ
智一郎くん！理事長内定おめでとう。理事長の職を全うする年が、智一郎くんにとって、LOMに居ることのできる最後の年になると思います。以降は、浜松のために日本JCで、その存在感を遺憾なく発揮することとなるでしょう。だから、みんなが智一郎くんのことを忘れないよう、みんなにとって強烈な印象として記憶に残る理事長になって下さい。貴方の体と頭脳は、浜松の財産なのだから。



第52期理事長 小 野 晃 司

内山予定者とはH9同期入会であり、私が理事長をした2002年度の専務理事ということで、いつも一緒に活動してきました。この数年は二人ともキャビネットの立場となりやや控えめですが、入会当時は夜の活動こそ積極的にしていたことを思うと「まさか俺たち2人が理事長に？」という感じです(笑)。理事長の職務はその年によって異なり、その位置づけの自覚があるかどうかで次の年への飛躍度が変わります。「やれることより、やるべきこと」を見極めた一年となるよう期待します。監事としてちゃんとバックアップするよ！

第55期理事長予定者 内 山 智 一 郎

プロフィール

明治大学商学部商学科卒
1993年4月 日本紙パルプ商事(株) 入社
1996年4月 菱山洋紙店 入社
2001年4月 営業統括部長就任
趣味・特技……サッカー
信 条………時間はすべての人間に平等である

1997年 入会
1998年 事務局幹事
1999年 地球ふれあい委員会副委員長
社日本青年会議所 パートナースhip
まちづくり委員会委員
2000年 事務局長
2001年 拡大アカデミー委員会委員長
社日本青年会議所
新世紀LOM進化特別委員会委員
2002年 専務理事
社日本青年会議所 東海地区協議会
事務局局長
2003年 副理事長
社日本青年会議所 東海地区協議会
事務局長
2004年 副理事長
社日本青年会議所 メディア
コミュニケーション委員会 副委員長

事業案内



トピックス

会員例会

地域の力成委員会

来る10月21日木曜日の会員例会は地域の力成委員会の集大成を飾るべく「スローフードを理解し今後に活かそう」が開催されます。

例会前にはグランドホテル浜松総調理長作のトマトカレーを御堪能下さい。第1部に一般から参加下さった親子による発表やUC(高校生団体)のビデオ発表があり、5ヶ月かけて行ったトマトの栽培報告がございます。皆さんはトマトの成長過程を御存知ですか？第2部ではグループごとに自由に語り合って頂く時間を設けました。お題は当日のお楽しみということでとにかく参加してみてください。未来の為に損はさせま・せ・ん・か・ら～！



日時 ● 10月21日(木) 19:00～21:00 場所 ● グランドホテル浜松「孔雀の間」 文／地域の力成委員会 委員長 永田 修久

ごあんない

10月～12月の開催事業予定

日 時	場 所	時 間
10月17日(日)	10月献血活動	JR浜松駅北口広場(遠鉄百貨店との間)
10月21日(木)	会員例会(地域の力成委員会)	グランドホテル浜松「孔雀の間」
10月24日(日)	静岡ブロック協議会 第6回会員会議所会議 +第2回出向者合同会議+懇親会	アクトシティ浜松
11月18日(木)	第3回定時総会	グランドホテル浜松「孔雀の間」
11月21日(日) ～11月26日(金)	世界会議(福岡)	福岡国際会議場
12月 2日(木)	卒業式典・忘年会	グランドホテル浜松「鳳の間」

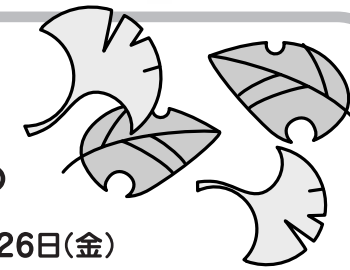
おしらせ

12月25日(土)より1月3日(月)まで
事務局冬休みのため、お休みさせていただきます。



PICK UP

渉外委員会より…… 少し肌寒い季節になりましたね。



第59回JCI世界会議へ行きましょう！ 11月21日(日)～26日(金)

11月21日～26日迄、福岡で世界会議が開催されます。日本で開催されるのは札幌以来4年ぶりなんですよ。世界中の仲間と会えるなんて楽しみです。さて、我々渉外委員会の面々も、世界各国から訪れる同胞たちに浜松をPRするべく、ブース出店の準備に日夜明け暮れております。先日某飲食店の厨房を営業時間中にお借りし、迷惑にも炭火を起こし、七輪でうなぎを焼いて当日の練習？を行いました。「ここまでやる本気が参加者増につながるんだ！」という猛立委員長の気迫に、大勢のメンバーの参加を呼びかけなければ…と士気が上がる猛立軍団なのでした。

まだ登録をしていない人は急いでください。迷っている時間はありません。登録料金が高いから行けない…と言う声をよく耳にします。でもジャパンナイトや各国ナイトなどなど交流プログラムが数多くあります。参加者の友情を深め世界への友好の輪を広げるチャンスです。ぜひ、みんなで世界会議に行きましょう！！

文／渉外委員会 幹事 吉村 英孝



飲食店の料理長も協力？
結構キツイんです。



JCメンバーの奥様にホントに聞きました



はりきって
まっせー!

あなた!!
禁煙してるんじゃないの? R.Y

うっしゅい!
うっしゅい!

8月29日(日)ロテルド寸座にて浜松青年会議所の家族例会が行われました。その際広報委員会の独断と偏見で、メンバーの奥様にアンケートのご協力をいただきました。このアンケートは日頃のメンバーに対する奥様からの本音を聞きだしたものです。

JC活動ってなかなか時間を取られますよね。一生懸命やればやっただけ家族と過ごす時間も少なくなる。両立にはそのバランスが難しいと思います。自分がメンバーであってもすれ違いが多い我が家ですが、大事なのは普段のちょっとした気遣いだと感じています。(このところ少しコミュニケーション不足ですが...) 今回の皆様からのご意見は共感できる部分がたくさんありました。素直に「ありがとう」って感謝できることって素敵なことだと思います。家族例会でJC活動の時とは違う「お父さんの顔」「夫の顔」を見てとても嬉しくなりました。やはり支えてくれる家族の存在が一番のパワーの源ではないのでしょうか? ひとつのきっかけ作りとしてお役にたっていたら幸いです。

文/山下 里栄子



うちのJuniorで〜す 可愛いでしょ

はいはいはい
プライベートなんで
写真はやめて
くださーい



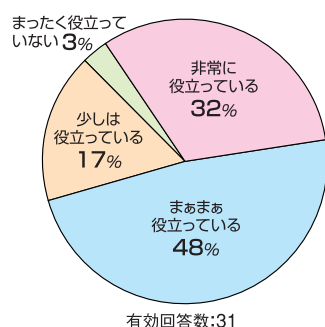
炭焼ハンバーガー
激ウマ

俺にまがせろ!
ウッキー!!

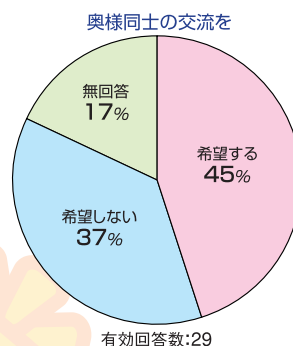
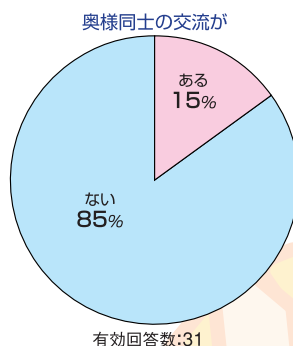


おサカナすくいです!

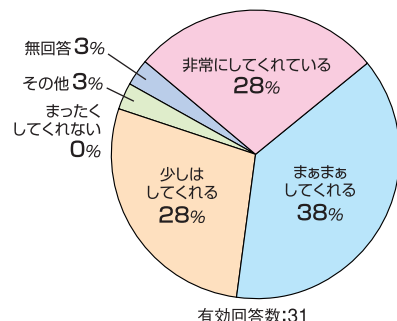
1. JCはご主人様にとって役立っていると思いますか?



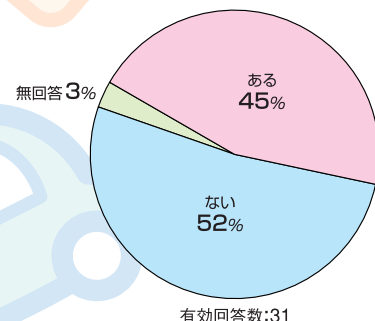
2. JCメンバーの奥様同士の交流はありますか? 奥様同士の交流を希望しますか?



3. ご主人様は家族サービスをしていてと思いますか?



4. JC広報誌を読んだことがありますか?



5. 毎年行われている家族例会ですが、どんな家族例会がいいですか?

- 子供がメインの例会がいい...4名
- 他の家族と知り合いになれるもの(チームでゲーム等)...2名
- 子どもと共に遊べる例会
- 食べて飲んでリラックスできる例会
- 気軽に参加できるもの
- 広いところで遊ばせたい
- 家族にアンケートをとって開催しては?
- キャンプ
- 演劇
- アウトドア
- ケーキバイキング...3名
- 海外旅行
- ショー
- バーベキュー
- クリスマス会

6. 今回の家族例会のご感想をお聞かせください。

- 楽しかった...4名
- 色々と準備をしてくださりありがとうございます。感謝しています...4名
- 雨で残念...3名
- 名札をつけた方がいい...2名
- こういう交流があるのはいいと思う。知り合いになれてよかった...2名
- うなぎつかみが面白かった...2名
- 遊覧船・SLが楽しかった
- テントが少し狭かった
- 飲みすぎ注意

7. ご主人様へ感謝のお気持ちやご要望をご記入ください。

奥様から

- いつもありがとう・感謝しています...11名
- お疲れさまです...7名
- もっと一緒にいてほしい&子どもと遊んでほしい...5名
- パパがいてくれるだけで幸せです...3名
- 体を大切にしてください...3名
- 朝方までのお酒のお付き合いもほどほどに!
- 帰宅を早くしてほしい
- JC活動に意欲的に取り組む姿勢と同じくらい、家庭でも意欲的・行動的であってほしいものです。
- 家族にも目を向けないと、気づいた時には寂しい思いをしますよ...2名
- うそはバレるの...R.Y

お子様から

- いつもありがとう...3名
- もっと遊んでください...4名
- お酒を飲みすぎないように
- JCに入りたい
- がんばってね
- だいすき
- 逆上がりを見せてほしい
- パパはおりこうさん

JCメンバーの奥様として

今回のアンケート結果の特徴は、Jaycee奥様たち皆さんが旦那様に対して「とても感謝している」ことが明らかになったことだと思います。要望としての旦那様(パパ)と過ごす時間も欲しいな...というご意見は、JCメンバーがご家族に非常に愛されている証拠ですから、快く受け止めてあげてください! 我が家にはまだ子どもはいませんが、子ども以前に「夫婦仲良し」が大切だな...と最近強く感じます。一生を共にするパートナーとどういふ人生を築いていくかは自分たち次第。ケンカしながらも、お互いの笑顔のために頑張る夫婦でいられたらいいな☆と思います。

文/大石 江理



電車で
GO!



上手にすくえよ!



おながすいたのに
なかなかソーメンが流れてこないよ...



涙が出るくらい
ウマイそうめんだなあ~



そうめんゲーツツ!!



ハンバーガーの中味は
何にしよつかな~?



泣いてないもん
ほんとだもん



パパー
僕のスーパーボール
割れちゃったよ~

吐くなよ
オイ

あの人は誰？～浜松JCの功労者達～ 第5回 伊藤雅章 先輩

— 浜松JCに在籍、活動しての思い出や役に立っていることなどをインタビューさせていただきました —

自分を見つめ直し、考え、始動…!!

「紹介者しか、知り合いはいませんでした。」入会のキッカケは、たまたま訪れたガソリンスタンド。と語るのは「㈱イトーシンミュージック」代表取締役社長、伊藤雅章先輩。

「今は、オリエンテーションがあって詳しい説明があるのですが…。当時は、ほとんどが紹介者との付き合いや顔で入会していたようで、先輩も二年間はスリーピングだったそうです。三年目に、今まで自分は何をやっていたのだろう…と自問自答され、自分からもっと進んでJ Cの輪の中に入らなければ、一生涯友達は出来ない…と気付かれたようです。

そんな折、ある先輩から「何でも勉強だからやってみろ…」との薦めに従い、J C活動をアクティブにはじめることに。一年、二年、三年と連続「例会皆出席」を続け友人を得る努力をされました。

地域社会への貢献

17年間の在籍で10年理事役員をなさった先輩ですが、一番の想い出は、ご自身発案の「中田島ちびっこジャンボリー」だそうです。それ以前は、稲葉先輩の提案で「子供のための雪まつり」が全体事業として開催されていました。雪に接する機会の少ない浜松の子供達に、10トン車10杯の雪山を用意して遊んでもらおうという企画でした。

3年目に伊藤先輩は担当副理事長として関わりを持ちましたが、雪の搬送は天候次第で、雨が降ったら輸送費の百万円は一瞬にしてパーになってしまいます。今のようにアメダス等詳細な気象情報を探る手立ての無い時代、自衛隊や気象台に何度も問い合わせました。開催決定のGOサインを出す難しさは…筆舌に尽し難く、もう前の日などは眠れませんでした…。(苦笑) 曇り空でしたが、本物の雪山を目前にした子供達は大喜びでした。

そして丁度、閉会の挨拶を終了した直後に、雨が降り出すということで、肝を冷やした思い出が残っているそうです。現在でも何処かで、この「雪まつり」は継承されているようです。

次年度は「ちびっこジャンボリー」の開催となりました。

J Cとして、経済人としての立場から考えたとき、地域特有の文化や伝統の継承が必要ではと思い、勇壮な「浜松まつり」の伝承的事业を企画したのです。

子供たちに大風の手応えを体験してもらい、まつりの楽しさや醍醐味を知ってもらおうと考えました。特に身体に障害をもった子供さんたちは、本番の風揚げを知りません。(危険なため引率者なし)

社会開発運動は、ここから一歩を踏み出したのです。「身障者の子供達に、まつりに参加するという夢をプレゼントしよう…」と思ったのです。ところが、「ちびっこジャンボリー」の企画立案した当初、周囲の反応は、先輩と少し温度差があったようです。「素晴らしいことだけど、実現できるかな?」ということだったようです。

西部児童相談所に先輩達の思いをぶつけました。市内10施設の子供たちを全員招待することが実現したのです。それから大変でした。毎日毎日メンバーの協力を得ながら、自治会回りをして、ついに27町の協力を取り付けることに成功しました。また浜松に進出したての中日新聞東海本社をはじめ、運動の主旨に賛同いただける方々のご協力を求めて積極的動き出したのです。開催にあたっては、国(建設省)、県(2警察署・2事務所)、浜松市(12課)、イベント協力(5団体)事前の新聞広報からジェットヘリまで飛ばしてくださった中日新聞東海本社の全面的なバックアップには、企業スケールの大きさを感じられたそうです。

翌日のマスコミ各社は、来場者約4万人と報道。会員各位の献身的な協力のお陰で事故もなく無事役目を果たせました。

今、思えば浜松の良さは自治会組織がしっかりしていることです。それは「まつり」という一大イベントがあるが故に、町内の人たちとの連携や交流が保てているということではないでしょうか? 「浜松まつり」の良さがそこにあるのです。12市町村の合併を目前にした今日。自治会をさらにまとめ上げる必要があります。そのためには、まつりの継続は不可欠です…。

先輩の提言はいまや行政を動かす大きな力となりました。そして、J Cメンバー198人全員の力をまとめ上げ、見事イベントを成功へ導きました。当時の岡委員長をはじめとする委員会メンバーの方々には今でも感謝しておられました。※「ちびっこジャンボリー」は現在の「はままつ少年の船」事業へと継承されています。

時代に合った、先取りした、活動を

「ちびっこジャンボリー」について先輩は、「僕らがやったのは地域のためとかJ Cのためとか言いながら、結局は自分達の研鑽の場でもあったんです…。

J Cの全会員が一つの事業に対し何らかの形で参画するという、そういう意識づけをすることが大切。それを七年も継続していただいたことに感謝しています…」とおっしゃっていました。

また、今後も時代のニーズを先取りした活動を、形や媒体を変えて継承して行ってほしいですね…。カッコよさを求めるのではなく、地に足をつけた活動をして、地域の人達からやってよかったネ…。と、言われるような発想やJ C活動を望んでおられました。



PROFILE 昭和20年1月9日生まれ(59歳)
株式会社イトーシンミュージック
代表取締役社長
1968年入会、1985年卒

子育てまめ知識

こちらのコーナーでは子どもの心理学に関する
ちょっとしたまめ知識をご紹介します。

Vol.5 コンピューターゲーム vs 計算 脳が活発なのはどっち?

子どもがコンピューターゲームにばかり熱中している姿を見ると不安になりませんか? 目も悪くなるし、外で元気に遊ぶことも少なくなってしまう…。しかし、一方ではゲームをしていると手や目、耳、頭をフルに活用しているようにも感じます。特に手先に関しては、両手指先をかなり使用するので、「脳にとっても良い刺激を与えているのでは?」とも思っていますが、コンピューターゲームは子どもにとって悪影響なのでしょうか? 脳科学者の川島隆太教授(東北大)が子ども向けに書かれた著書「自分の脳を自分で育てる」(くもん出版)から紹介します。

【脳科学者・川島隆太教授(東北大)のポジトロンCTによる検査結果より】
『楽しいはずのコンピュータゲームよりも、一けたのたし算みたいなのは、とても単純なことが、わたしたちの脳をいっぱい働かせているのです。』
(「自分の脳を自分で育てる」川島隆太著 くもん出版)

コンピューターゲームでは『視覚野』と手を動かす『運動野』しか働いていないのに対し、計算をしているときは、『左脳頂葉』『前頭葉』『頭頂葉』『後頭葉』と脳全体が活動していることがわかったそうです。また、文章を音読している時も同様に脳全体は活発に活動しています。

実際にゲームをしたことのある方の中には、あんなに面白くて熱中する(ハマる)ものはなかなかないんじゃないか? と感じる方も多いと思いますが、それは一体なぜでしょうか。ある文献でこんな文章を見つけました。「選りすぐりのプロ達によって何億円もかけて作られているデモンストレーションなのだから、面白いに決まっているじゃないか!」そう言われてみればその通りなのです。誰かが作ったストーリーの中に入って、作者が敷いたレールの上を、あたかもそれらを自分が創造しているかのような臨場感を味わう。いわゆるバーチャルといわれるものです。それも現実の生活の中では絶対に体験できないようなこと(敵を倒したり相手を殺したり)ばかりの連続が、さらに人々を熱中させるのかもしれませんが。要するに、目耳体をゲームによってすべて満たされて脳は受動的にしか働かないということなのでしょう。

脳の中でも特におでこの後ろに位置する「前頭前野(ぜんとうぜんや)」を鍛えることが子どもたちの夢を実現するために欠かせない力を育むことになることがわかり、続編「脳を育て、夢をかなえる」(くもん出版)では、前頭前野を鍛える方法を紹介しています。

「子どもたちの脳はいつ活発に活動するのか?」
—それは父親や母親との“コミュニケーション”—
「脳をきたえるために、まず大切なことは、お父さんやお母さんと、いろいろな話をたくさんすることだと思います。それには、家族そろっての夕食のときに、テレビを消すのも一つの方法です。わたしの家庭でもやっていますが、話がはずむようになること、まちがちなしです。」
(「脳を育て、夢をかなえる」川島隆太著 くもん出版)
http://www.kumon.ne.jp/kumon/backnumber/2003_08/index.html

一日のできごとを「思い出して」「話し」たり、母親の言葉を「聞いて」たり、気分よく「笑ったり」することなど、“コミュニケーション”を紐解いていくと全てが前頭前野を活性化させる動作につながっているのです。前頭前野の働きを調べていくなかで、今、明らかに言えることは、私たち人間が夢を実現しようとするときに必要となる力の多くが“前頭前野”に含まれているということです。自分自身でたくましく鍛えた前頭前野を使って、自分自身の夢を見つけ、実現させる…人間にしかない、そんな能力やチャンスがあることを子どもたちに直に伝えたいし、絶対に無駄にしてほしくないと思っています。

私たち大人が子どもたちにしてあげられることは、子どもたちが自分の人生を自らの力で歩んでいけるよう「生きる術」を身につけさせることではないでしょうか。それらを実行していくうえで、こうした正しい情報や知識を十分にふまえながら、毎日の積み重ねの中で子どもたちと共に様々なことを学んでいけたら素晴らしいと思います。

文/大石 江理

HAMAMATSU JC
広報 magazine

Dreamer



編集後記

厳しかった猛暑も終わり、秋風が心地よい日々がやってまいりました。

昨年の今頃は、新会員としての卒業忘年会のアトラクションや、広報委員会幹事としての作業も始まり、私事で結婚式の準備に追われ、秋の風を楽しむ時間はまったくない状態でした。一年経ち、広報委員としての取材や原稿を書くことにも徐々に慣れ、内容にも工夫ができる余裕もできました。一年継続することは本当に大変で素晴らしい事だと実感しています。

やっと慣れた取材&編集ですが、あつという間に大詰めを迎え、広報誌も次号でいよいよ『最終回』を迎えます!! こうご期待!

そして、10月は暦の上では神無月。

八百万(やおよろず)の神様たちが出雲大社に集結してしまうために、日本各地から神様が消えてしまう(出雲では神在月という)月なんだとか…。

今回特集ではJCメンバーの奥様ホンネアンケートを集計しましたが、「お父さんの不在」に対するご意見が多数みられました。神無月は浜松に神様は不在ですので、神様代行としてはお父様が家族を守ってあげてください。

広報委員会 幹事 大石 江理

【2004 広報委員会編集スタッフ】

広報委員長 山下 里栄子
副委員長 小池 宏明 竹内 一
幹事 大石 江理 嶋津 昌弘
委員 江間 徹士 折山 哲康
河村 浩利 久保田 賢

〒432-8036
浜松市東伊場1-3-1 グランドホテル浜松 内
社団法人 浜松青年会議所

tel.053-454-6721
fax.053-455-3563

URL
<http://www.hamamatsujc.jp/>

E-mail
room@hamamatsujc.jp

広報委員会がおすすめするホームページサイト

21世紀の姓名判断命名navi
<http://naming.jp/>

JCホームページ
リンクのついでに

4年弱でアクセス数820万を超える

大人気サイト!

自分や家族の姓名判断から、

かわいい我が子の命名まで、

とっても便利&楽しめます♪

音の響きで姓名判断するコーナーも

ありますよ～。



推薦/大石 江理